

令和3年5月27日

第八管区海上保安本部長冒頭挨拶

皆さんこんにちは。

本日も、ご多忙中にもかかわらず、お集まりいただき、ありがとうございます。

先の北朝鮮籍貨物船沈没事案においては、多くの報道機関に取り上げて頂き、沿岸住民や広く国民の皆さまに情報をお伝えすることができ、また、当庁業務の一端をお知らせすることができたのではないかと考えております。

引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、本日の本部からの発表事項は、「海洋環境保全推進週間」と「GW 期間中における海難発生状況」の2点となります。

海上保安庁では、全国一斉に、5月30日から6月30日までの約1か月間を「海洋環境保全推進週間」とし、「未来に残そう青い海」をスローガンに、今ある青い海を次の世代に引き継ぐべく、海で働き海で遊ぶ大人たちに対し、船舶からの漏油事故防止やごみの適正処理などの指導や啓発活動を行います。

また、未来を担う子供たちへきれいな海を守ることの大切さを伝えるべく、「うみがめまりんの冒険」と称した紙芝居などによる海洋環境保全教室を開催するとともに、「図画コンクール」を今年も開催す

ることとしております。

詳細については、警救部長から説明がなされます。

私事ですが、図画コンクールでは、現役の海上保安官も審査員の一人として参加する機会に恵まれることがあります。私自身もこれまで5回ほど参加する機会を得ましたが、入賞の有無にかかわらず、魚の絵、船の絵、海水浴の絵など、海に関係するものを、一生懸命に描かれた作品に幾度と出会い、感激したりもしました。

ちなみに、今から30数年前の海上保安大学校の入学試験のうち、作文では海洋環境保全について書いた記憶があります。

次に「GW期間中における海難発生状況」ですが、昨年引き続き、緊急事態宣言による外出自粛の影響もあり、手漕ぎボートが強風で岸に戻れなくなり救助された1件のみとなりました。

期間中、海上保安官は直接出向き、海でボートで楽しむ人や沿岸で釣りを楽しむ方々に安全のための指導やリーフレットを配布し、ラジオやSNSを通じての周知も行いました。

詳細については、交通部長から説明をご参照下さい。

梅雨が明けると本格的なマリレジャーの季節となります。引き続き、あらゆる施策を展開して、海難0を目指していくこととしております。

私からは以上となります。